



#009
第9回 V.STAR GP

栗原 良太 RC300h
滋賀県・28歳

圧倒的存在感で光輝いていたRC300h。各エアロは、レクサス純正ブラックの202で合わせつつ、ウイングだけはグラファイトガラスフレック仕様に。キャリアもメーカーのオレンジに合わせ、ピアスボルトもゴールドに。この統一感がポイント。



「エイムゲインが好き」ということで、ウイング含む各エアロとエアサス、マフラーと、主要箇所は全てエイムゲイン。今後はテールLED化を予定している。



純正フェンダーのボリューム感を崩さないよう、スベサーレスでこのツライチを獲得。通勤にも使うため、車高調からエアサスに仕様変更済み。



#010
第9回 V.STAR GP

外装全てフルメイクで参加です!



「JOBのエアロデザインにヒトメボレ!」。そこに自分の好みをミックス。

舘 健斗 50シーマ
三重県・26歳

50シーマによるビス止めオーバーフェンダーは、なかなか見ない男気仕様。しかも、ロケットパニー製パーフェンだし、迫力の足まわりを実現するために、キャリアやディスクのセットアップにもこだわりあり。日本以上に海外ウケしそうな雰囲気だ。



存在感主張し満りのロケパニー・パーフェン。前後19インチで、F10.5J、R12.5Jを装着。WORKマイスター-M1の深リム具合もバッチリ決まってる!



#011
第9回 V.STAR GP

藤野 恭平 カムリ
福井県・24歳

圧倒的少数派なカムリだが、それだけに目立つ存在なのは間違いない。藤野君の愛車は、サイド&リアにモデリスタ、フロントにカムリ用をラインナップするアスカジャパン製をチョイス。シャープなヘッドライトに合わせた造形美が魅力的だ。



チーム主催チャチャがカップ司会担当です



VS RS19インチを、社外フルアームを使ってローダウン。今後、フルメイクを予定している。

アスカジャパンのフロントは、トヨタのスピンドル風イメージ。リアはモデリスタをそのまま使用した。



#012
第9回 V.STAR GP

田所 由隆 18マジェスタ
大阪府・45歳

各エアロは純正加工によるもの。それは、「純正加工ならば他人と違う個性が出るから」というのが田所さんの理由。ド派手なボディカラーは4コート仕上げのため、光の加減で色が変化する。「カタチは大きく変えない」というのもこだわりのポイント。



フロアマットやカーペットまで、フルオーダーで全て張り替え済み。オーディオも室内、トランクと共にセットアップしてあり、KICKERで統一。



「目惚れした」というグノースHS202と、パーティークラブ製アーム類でローダウン。外装はノーマルの雰囲気崩さないのが、田所さん流。



#013
第9回 V.STAR GP

楠 樹 120マークX
大阪府・22歳

全国的に台数が増えているマークX。目立ちたがり屋の楠君は、注目を集めるためにこの色をチョイス。ノーマルっぽくも見え、フロントは、エイムゲインの18クラウン用純VIPを加工。このVスターに合わせてフェンダーを叩き出して仕上げてきた。



エアロだけではなく、グリルやスポイラーにもこだわりあり。120系特有のおとなしさをいい意味で打ち消し、シンプルだけどゴツいリックスを獲得した。



お気に入りのホイールはリバレル中で、この日はスペアのMAEを履かせていた。とっても豪華なスペアで、このスタイルにもマッチしている。アーム類はTディメンドとナギサを採用している。



#014
第9回 V.STAR GP

山本 洋平 50シーマ
滋賀県・30歳



ドレスアップのコンセプトは「純ベタシンプル」。日正タイヤワンオフ車高調は「下げ幅、乗り心地ともに最高です」。ワンオフマフラーもばっちり底上げし、着地スタイルを構築。

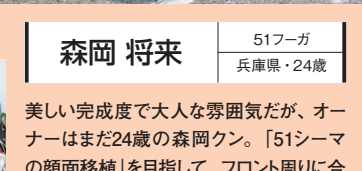
基本的に、4本同色で揃えるのがホイール選びのセオリー。しかし、運転席側と助手席側で色違いを履くのが山本君流。「人と同じになるのが嫌なので、あえて色違いを履かせています」。ディスクやリムだけでなく、ナットやバルブキャップも色違いで揃えるこだわりっぷりだ。



#014
第9回 V.STAR GP

森岡 将来 51フーガ
兵庫県・24歳

美しい完成度で大人な雰囲気だが、オーナーはまだ24歳の森岡君。[51シーマの顔面移植]を目指して、フロント周りに合わせて、前後バンパーもシーマ用に。ノーマル移植ワザでも、イベントで十分映えることを証明してくれた1台だ。



フェンダーはノーマル。前後のアップアーム類をTディメンドで仕上げ、迫力のスタイルに。



マフラーは、中間からリアにストレート加工を施した。こうして見ると、完全に51シーマそのものだ。



#015
第9回 V.STAR GP

久々のイベント参加は楽しいです!



くっきりパーフェンにツライチで合わせたイミッツの迫力は、ハデシブの元祖系にピッタリ!



左右4本出しも、外方向への角度をつけたセットでワイルドさ倍増。リアテールはフルLED化。

50シーマにくっきりパーフェンを装着し、「元祖系」を目指した杉本君。キャンパー角、タイヤの見え方、そしてWORKイミッツのデザインと、この足まわりだけでも見応え十分。VIPの方向性の一つとして、このまま元祖系を守り続けて欲しい。

